

天体観測ドーム 今月のOPEN

日没から午後9時30分まで（晴天時のみ）

2日(土)~4日(月)・9日(土)・10日(日)

16日(土)・17日(日)・22日(金)~24日(日)・30日(土)

星空通信



2024年11月号

★今月の惑星情報★

水星

日の入り後の南西の低空に位置。16日に東方最大離角となるが、日の入り30分後の高度は10度にも満たず観察は難しい。その後は高度が下がりさらに観察しにくくなる。

金星

日の入り後の南西の空に見える。明るさは-4.0~-4.2等。

火星

かに座を東に移動。真夜中に東の空に見える。明るさは0.1~-0.5等と明るくなる。

木星

おうし座を西に移動。日の入りの少し後に東の空に昇り、真夜中は東から南の空高くに見える。明るさは-2.7~-2.8等。

土星

中旬まではみずがめ座を西に移動しているが、16日に留となり、以後は東向きの動きに転じる。留の頃には、星空の中での土星の動きが止まったように見える。宵の南から南西の空に見え、明るさは0.8~0.9等。

- 1日 新月
- 5日 おうし座南流星群が極大
- 9日 上弦
- 12日 おうし座北流星群が極大
- 16日 満月/土星が留/水星が東方最大離角
- 21日 オリオン座流星群が極大
- 23日 下弦
- 26日 水星が留

用語解説

留…惑星が順行⇄逆行へ変わる時、地球から見た天体上で、太陽からもっとも離れる瞬間。

東方最大離角…地球から見た天体上で、太陽の東にもっとも離れる瞬間。地球上から見ると西の空に見える。

おうし座北流星群

おうし座北流星群は、放射点がおうし座の中にある流星群です。放射点や活動期間が異なる南流星群（南群）と北流星群（北群）の2つに分かれています。

北流星群は10月下旬~12月上旬にかけて活発になり、11月12日頃に極大となりますが、他の流星群とはちがって大きなピークがなく、長い期間にわたって1時間に数個ほどの流星が見られます。ぜひ観察してみてくださいね♪

